

別記様式

		担 当 課	教育総務課
会 議 の 名 称	令和5年度第1回鴻巣市学校給食運営委員会		
開 催 日	令和5年7月21日(金)		
開 催 時 間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時25分 閉会		
開 催 場 所	鴻巣市立中学校給食センター2階研修室		
議長(委員長・会長)氏名	委員長 伊藤誠		
出席者(委員)氏名(出席者数)	伊藤誠、吉田由紀恵、町屋宏之、島田優子、関口稔、須賀紀子、今井真美、太田恭子、関根智美、庄司幸恵、新井恵子、下畑壮之輔、永塚有希(13名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	磯畑栄一、佐々木倉造、西垣裕菜(3名)		
事務局職員職氏名	教育長/望月栄、教育総務課長/松本直樹、中学校給食センター所長/藤平健司、主幹/田沼健司、主査/矢部悟、技師/中野あゆみ		
傍聴の可否(傍聴者数)	傍聴可(0名)		
会 議 の 内 容	<p>【議事及び決定事項など】</p> <p>委嘱状の交付</p> <p>議事(1) 鴻巣市の給食体系について</p> <p>議事(2) 給食調理等業務委託について</p> <p>議事(3) 小学校給食室及び中学校給食センター整備計画について</p> <p>議事(4) 給食費滞納状況について</p> <p>議事(5) 食物アレルギー対応について</p>		
	<p>【質疑応答】</p> <p>議事(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰もあり、献立の作成が非常に厳しい。1食単価を超える部分について補助金等で補填して欲しい。 ・給食費を値上げしてでも、引き続き給食回数を確保して欲しい。 <p>⇒物価上昇に伴う不足額や近隣他市町の1食当たりの単価等を調査し、本市の現状を今後、報告したいと考えている。令和5年5月の県の調査において鴻巣市は県の平均よりも高い1食単価であるが、質を落とさず給食回数を確保すべく、今後、検討していきたい。</p> <p>議事(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校を比較すると中学校の方が滞納者が多いが原因は何か？ 		

	<p>⇒直接的な関わりが少ない中学校給食センターからの給食費の集金は、学校からの対応よりも保護者との心理的な距離が遠く、保護者が感じるプレッシャーが違うと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校だけでも給食費は全額免除することはできないか。 <p>⇒限られた予算の中で対応しているため、中学生分だけであっても多額の費用がかかるため、現状の財政では、他の事業を止めるなど対応をしないと捻出できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校でも滞納整理を行うが、効果的な方法等があれば知りたい。 <p>⇒「滞納整理に近道はない。」地道に足を運ぶ、市の援助制度等を促し、保護者にお願いしていく方法しかないと考えられる。</p> <p>議事（５）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝類のアレルギーの生徒は増加傾向か。 <p>⇒以前から一定数の貝類のアレルギー生徒はいた。中学校給食センターでの食物アレルギー対応が開始して１年経ち、安全に提供ができる体制が整ってきたため、貝類のアレルギー対応を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナッツのアレルギーについて、中学校は使用しない食品を定めているが、小学校でも対応を統一させたい。 <p>⇒小中学校の食物アレルギー対応は、「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき実施している。今後、栄養教諭、栄養士とも協議し、マニュアル改訂の際に見直しを検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食配膳用白衣・エプロンの共有について、市はどのように考えているか。 <p>⇒鴻巣市小・中学校校長研究協議会で児童用白衣・エプロンを個人持ちについて、協議されている。様々な家庭があるため、市からの支給は続けてほしいという要望があり、今後も予算の範囲内で支給する予定である。個々の事情に応じて対応が必要な場合は、引き続き学校長の判断でお願いしたい。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所より食中毒についての情報提供 ・「エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援」について ・次回会議は１２月予定
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・会議資料 ・鴻巣市学校給食計画